

新潟県

- 新潟県の年間商品販売額は卸売業の6割近く、
小売業の4割近くが新潟市に集中 -

新潟県の事業所数をみると、卸売事業所の39.8%、小売商店の29.3%を新潟市が占めています。年間商品販売額では卸売業の57.1%、小売業の36.5%を新潟市が占めています。

業種別にみると、農耕用品小売業が事業所数では全国2位、年間商品販売額では全国3位となっています。

小売商店の立地では商業集積地区が35.7%と最も高い割合となっており、商業集積地区の内訳では、住宅地背景型の割合が最も高くなっています。また、ロードサイド型の割合が増加しています。

卸売販売品目をみると、「鉄鋼一次製品」、「金物」、「酒類」が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

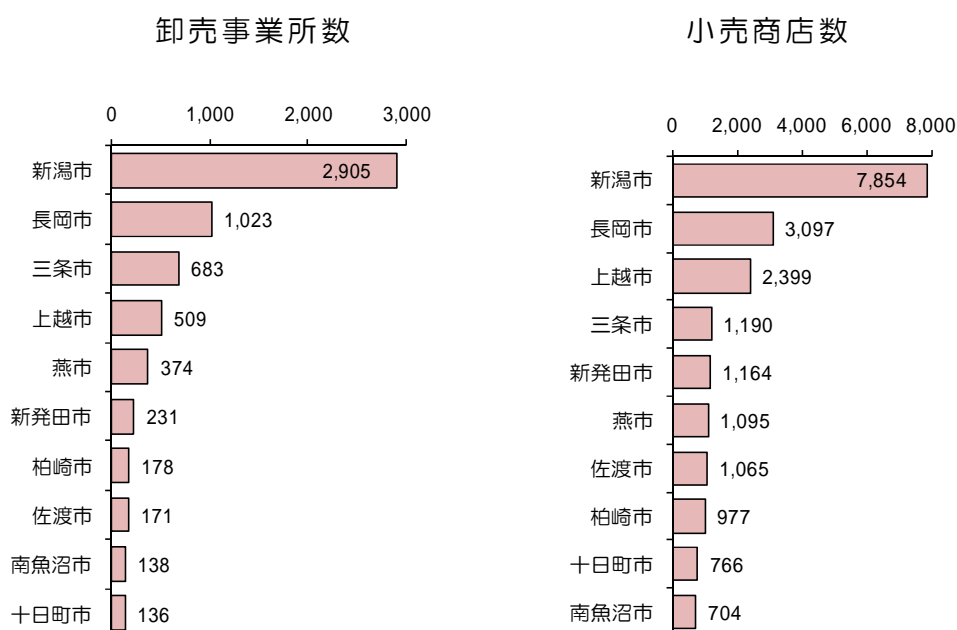
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
新潟県計	34,087	13	222,217	15	7,185,195	14	
卸売業計	7,304	14	67,031	14	4,608,546	14	
業種別	各種商品卸売業	32	12	311	13	27,368	11
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	108	10	471	11	29,605	9
	衣服・身の回り品卸売業	259	13	2,341	13	74,586	14
	農畜産物・水産物卸売業	789	14	7,454	17	416,876	21
	食料・飲料卸売業	805	14	7,791	15	620,348	14
	建築材料卸売業	883	13	6,959	12	442,750	13
	化学製品卸売業	266	14	1,859	15	131,374	15
	鉱物・金属材料卸売業	435	12	5,186	9	832,564	10
	再生資源卸売業	231	12	1,592	13	66,361	13
	一般機械器具卸売業	749	12	6,118	12	327,262	15
	自動車卸売業	438	12	4,525	12	207,341	16
	電気機械器具卸売業	347	14	3,380	14	276,782	20
	その他の機械器具卸売業	226	13	2,067	14	116,679	15
	家具・建具・じゅう器等卸売業	284	15	2,807	11	107,765	13
	医薬品・化粧品等卸売業	303	15	3,306	14	251,237	15
他に分類されない卸売業	1,149	10	10,864	9	679,648	9	
小売業計	26,783	13	155,186	15	2,576,649	14	
業種別	各種商品小売業	98	15	9,548	20	175,448	19
	織物・衣服・身の回り品小売業	3,610	13	13,340	15	173,970	15
	飲食料品小売業	9,516	11	60,294	15	841,020	14
	自動車・自転車小売業	2,221	12	13,615	12	340,825	13
	家具・建具・じゅう器等・機械器具小売業	2,599	12	9,478	14	174,629	17
	その他の小売業	8,739	14	48,911	15	870,757	13
	医薬品・化粧品小売業	1,769	12	8,588	15	170,196	13
	農耕用品小売業	602	2	2,496	2	58,801	3
	燃料小売業	1,483	13	8,671	15	320,235	12
	書籍・文房具小売業	896	14	11,617	15	82,287	14
	スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	566	14	2,604	19	40,796	20
	写真機・写真材料小売業	82	14	271	15	2,045	20
	時計・眼鏡・光学機械小売業	479	11	1,404	15	14,220	18
	他に分類されない小売業	2,862	13	13,260	15	182,177	15

2. 市町村別の状況

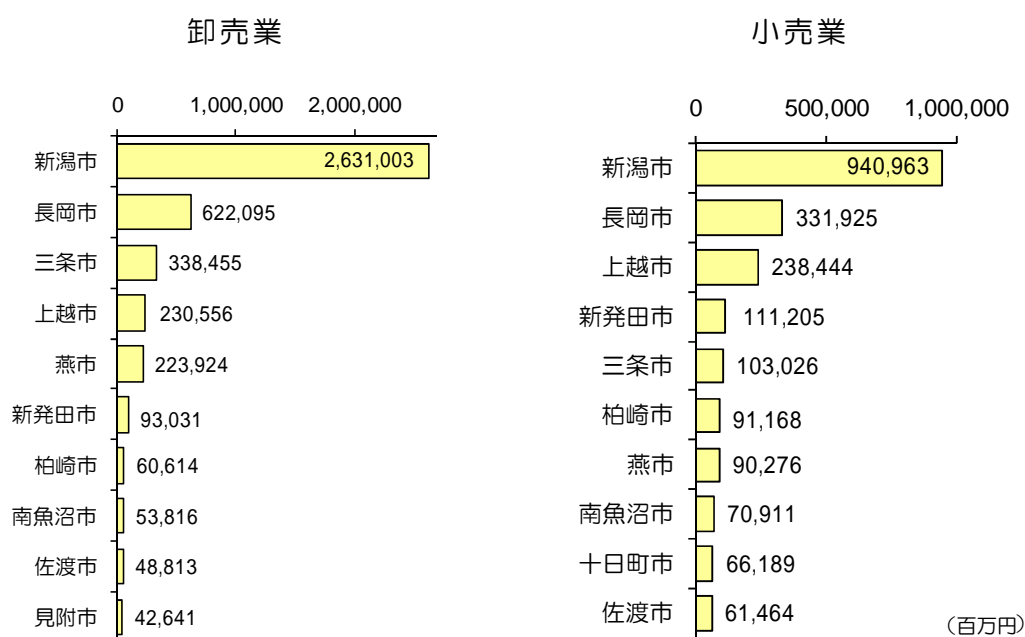
新潟県の事業所数をみると、卸売事業所の39.8%を新潟市が占め、次いで、長岡市、三条市、上越市の順となっています。小売商店は29.3%を新潟市が占め、次いで、長岡市、上越市、三条市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業の57.1%、小売業の36.5%を新潟市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

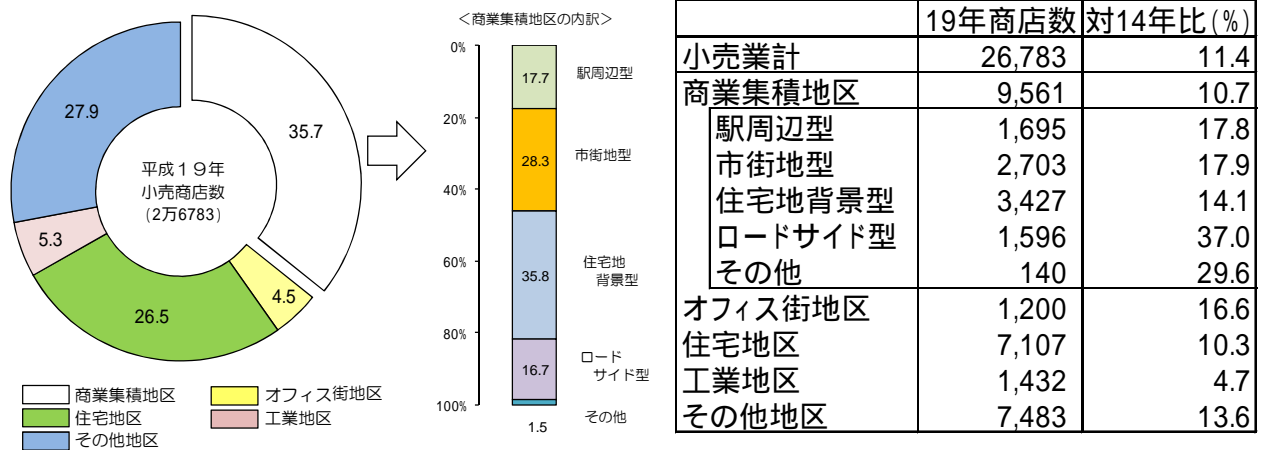


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が35.7%と最も高く、次いで、その他地区、住宅地区の順となっています。商業集積地区の内訳では住宅地背景型の割合が35.8%と最も高くなっています。また、ロードサイド型が伸びています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「鉄鋼一次製品」、「金物」、「酒類」が上位に入っています。小売販売品目では「酒」が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)

